

学校便り

すべては
子供たちのために！

児童生徒が一歩ずつ前進し成
長する学校をめざして

バンドン日本人学校 校長 榎 勉 令和元年5月27日

<児童生徒総会>

5月9日、児童生徒総会が行われました。小学部1年生から中学部3年生までが別館に集まり、より良い学校生活のために話し合いました。

まず、児童生徒会長と副会長、小学部代表の3名が本部役員としての所信表明を行いました。「バンドンで一番、世界で一番仲の良い学校にしていこう」「本気で取り組む児童生徒会にしよう」など、児童生徒はもちろん、先生方の胸を打つ所信表明でした。

総会ではたくさんの質問や意見も出され、児童生徒が確実に一歩ずつ成長している姿が見られました。



<春の読書週間>

先週は図書委員会が企画した春の読書週間でした。図書委員会の児童生徒による読み聞かせやお勧めする本の紹介など、自分たちで考えた計画に沿って読書に親しみました。

本校の図書室には毎年、日本から購入している本の他にも、帰国した児童生徒の保護者から寄贈されたものなども含めて、たくさんの本があります。



<めざす児童生徒の姿>

今年度、「めざす児童生徒の姿」を今までよりもはっきりさせ、「よく考える子」「思いやりのある子」「進んでやりぬく子」「強くたくましい子」「日本もインドネシアも良く知る子」の5つに再構成しました。めざす姿に近づくように全力を尽くします。

<後部座席もシートベルトを>

インドネシアでは、後部座席のシートベルト着用が義務化されてはいないのだそうですが、大使館の方にお聞きしますと、先日もジャカルタからブカシに向かう高速道路で日本人の方が交通事故で亡くなったそうです。亡くなった方は、後部座席でシートベルトをしていなかったそうです。インドネシアでは毎年1, 2名の日本人の方が交通事故で亡くなっているそうです。

お子様の命、ご自身の命を守るために是非、後部座席もシートベルトを着用したいものです。
【学校の楽しい様子、ブログで公開中！ <http://bjschool.blog.fc2.com/>】